※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次

使用教科書	高校美術３（日文）
副教材等	

（学習方法等）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術とデザインの特長は、活動を通じて美術活動を更なる豊かな心情を養う。生涯にわたり日常生活下において多面的にデザインが溢れていることへの理解と興味が重層される。感性と美意識を磨き洗練された個性豊かな美術の能力を高める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】色彩、造形、デザイン特性など基本的な知識を身につけ、造形能力につなげる。
【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ表現の意図と創造的な工夫、美術デザインの働きについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり美術デザイン全般を充当した美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。同時にデザインのもつ特異性で機能力、機能性などの見方や感じ方も一層深めたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術デザインを愛好する心情を育むとともに感性と美意識を高め、美術文化に親しみ日常的なデザイン社会にも理解を持ち心豊かな社会や生活を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に着け意図に応じて表現方法を工夫してる。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、学習イメージを持つ。 ・クロッキー	a:クロッキーの目的を理解している。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子 作品
	絵画からの色彩抽出1	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・制作 過去の名画から任意で一枚選び、その作品に使われている色味を抜き出し絵の具による色彩構成を行う。 ・相互鑑賞	a:絵の具など、表現形式の特性を理解しようとしている。 b:絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 c:絵画からの色彩抽出に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品
2学期	日本の美術、発見	・作品について【鑑賞】 ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、調べる。 ・班ごとに発表する。	a:日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について知識を深めている。 b: 日本の伝統的な美術の表現の特質について考え、日本及び諸外国の美術文化について自分の考えを表現している。 c:日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	銅版画制作	【絵画･彫刻】【鑑賞】 ･スケッチ ･制作 与えられたテーマをもとに下絵をおこし、用具の特性などを生かしながら制作を行う。 ･相互鑑賞	a:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。 b:表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c:銅版画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品
3学期	CM制作	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ･アピールしたいテーマごとにグループになり、アイデアスケッチ（絵コンテ）を作成する。 ･班で協力してカメラで撮影をする。 ･コンピューターで編集を行う。 ･相互鑑賞	a:映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。 b:カメラやコンピューター、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 c:目的を基に写真やコンピューターなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品
	照明	【絵画･彫刻】【鑑賞】 ･制作 陶芸作品の制作過程を説明し、与えられたテーマをもとにイメージを膨らませ、スケッチを行う。スケッチをもとに土練から成型、本焼きまでを行う。 ･相互鑑賞	a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。 b: 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c: 陶芸制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品	学習活動の様子 制作の様子 鑑賞ワークシート 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。